


平成14年度供給計画の概要

平成14年3月

 北陸電力株式会社

目 次

はじめに

1 . 需要見通し	1
2 . 電源開発計画	2
3 . 需給計画	3
4 . 主要送電線路・変電所の整備計画	4
参考：設備投資額	5

はじめに

電気事業においては、お客さまの競争入札による電気の調達や、様々な新規参入者の動きが本格化しております。また、昨年11月から総合資源エネルギー調査会電気事業分科会において、電力の安定供給を効率的に達成しうる公正かつ実効性のあるシステムの構築に向け、電気事業制度のあり方についての検討がなされております。

こうしたなか、当社は北陸電力グループあげての経営改革を加速し、価格競争力の一層の強化を図るとともに、安定供給の確保・地球環境保全等の公益的課題を達成するため志賀原子力発電所2号機の建設を着実に進め、「低廉・良質・安定・クリーン」な北陸電力ブランドの充実を図り、地域の皆さまから信頼され、お客さま、株主の皆さまなどから選択される企業を目指してまいります。

平成14年度供給計画は、このような認識のもと、次の事項に重点をおいて策定いたしました。

徹底した経営効率化の推進とお客さまサービスの向上

供給信頼度維持のもと、投資効率を重視した設備形成を図るなど、徹底した経営効率化を進めてまいります。また、お客さまの多様な課題・ご要望に迅速かつ的確にお応えする個別提案型マーケティング活動を強力に展開してまいります。

- ・設備投資・修繕費の削減と設備全般にわたる効率的な運用
- ・事業分野別管理の徹底
- ・業務用蓄熱式空調システムなどを中心としたトータルプランの提案
- ・お客さまサービスセンター（コールセンター）の設置をはじめとするサービス体制の充実

長期的展望に立った電力の安定供給の確保

安定供給の確保の観点から、エネルギーセキュリティの中核である原子力を推進するとともに、発電から流通に至るネットワークの整備を行ってまいります。

- ・志賀原子力発電所2号機建設工事の着実な推進
- ・志賀中能登線・能越幹線等の流通設備の整備

環境保全活動への積極的な対応

地球環境保全の観点から昨年制定した「北陸電力21世紀環境憲章」に基づき、原子力発電、省エネルギーの推進などによる環境負荷低減に資する様々な取組みを推進してまいります。

- ・志賀原子力発電所1号機の安定・安全運転、および2号機建設工事の着実な推進
- ・事業用風力発電の入札実施や北陸グリーン電力基金への支援による自然エネルギー普及促進
- ・環境汚染物質削減に向けた取組み
- ・省エネルギーやリサイクル活動などの推進

1. 需要見通し

(1) 販売電力量

平成13年度の当社の販売電力量は、北陸経済の低迷を反映し前年度を下回る見込みであり、14年度以降についても、当面は厳しい状況が続くものと見込まれます。

しかし、中長期的には、一層の省エネルギーが進むものの、民生用需要が生活の快適志向の高まりや都市再開発事業の進展などから引き続き堅調に推移することに加え、産業用需要も情報・通信機器関連の生産増加などにより安定した伸びが見込まれます。

この結果、平成23年度の販売電力量は297億kWhと想定しました。

(2) 最大電力

年負荷率は、冷房需要の増加などの低下要因はあるものの、蓄熱調整契約や深夜需要機器の普及拡大など負荷平準化対策の推進により、緩やかに上昇していくものと想定しました。

この結果、平成23年度の最大電力は603万kWと想定しました。

第1表 需要見通し

年度 項目	平成 12 実績	13 推定 実績	14	15	16	17	18	23	年平均 増加率 12~23
販売電力量 (億 kWh)	257	250	249	252	258	263	269	297	1.3% (1.4%)
最大電力 (万 kW)	521	522	511	517	528	540	551	603	1.3% (1.5%)
年負荷率 (%)	59.3 (59.2)	57.6 (58.5)	58.5	58.5	58.6	58.6	58.7	59.2	-

(注)・()内は気温補正後の値。

・特定規模需要を含む。

2. 電源開発計画

長期にわたる電力の安定供給を図るため、品質管理、環境保全、工事安全に万全を期し、志賀原子力発電所2号機の建設を着実に推進してまいります。

また、珠洲原子力地点については、中地域3社による協調体制のもと、引き続き地元合意形成に努めてまいります。

第2表 電源開発計画

電源種別	区分	地点名	最大出力 (万kW)	着手年月	着工年月	使用開始 年月
原子力	工事中	<small>しか</small> 志賀2号	135.8	9 - 3	11 - 8	18 - 3

<参考> 公営・その他の電源開発計画

事業者名	地点名	最大出力 (kW)	着手年月	着工年月	使用開始 年月
石川県	<small>しんか ねぶち</small> 新枯湊	3,600	S61 - 3	10 - 10	18 - 3
日本海発電(株)	<small>く ぶすがわ</small> 久婦須川	3,100	3 - 12	6 - 7	14 - 4

3. 需給計画

需要見通しおよび電源開発計画に基づき、長期にわたる安定供給の確保を図ってまいります。

また、設備全般にわたる供給力の有効活用を図る広域融通を引き続き実施いたします。

第 3 表 需 給 計 画 (最大電力)

年 度 項 目	平成 1 3 実績	1 4	1 5	1 6	1 7	1 8	2 3
需 要 (送電端) (万 kW)	522	511	517	528	540	551	603
供給力 (送電端) (万 kW)	593	587	593	599	594	649	672
供給予備力 (万 kW)	71	76	76	71	54	98	69
供給予備率 (%)	13.6 (16.3)	14.9	14.8	13.4	10.0	17.8	11.5

(注) ()内は気温補正後の値。

第 4 表 電 力 量 構 成 比

(単位：%)

年 度 項 目	平成 1 3 (推定実績)	1 8	2 3
水 力	2 2	2 2	2 2
火 力	5 6	3 4	2 8
	石 油	6	5
	石 炭	5 0	2 9
原 子 力	2 1	4 4	5 0

(注) 四捨五入のため合計が合わない場合がある。

4. 主要送電線路・変電所の整備計画

系統規模の拡大に対応して電力を安定に輸送するため、志賀中能登線、能越幹線の建設を推進してまいります。

また、電力需要増加に対応して、越前、加賀変電所をはじめ、送変電設備を新增設いたします。

第 5 表 送 電 計 画

区 分	件 名	工 事 概 要				使用 開始 年月
		電 圧 (kV)	電線サイズ (mm ²)	回線数	亘 長 (km)	
工事中	し かなかのとせん 志賀中能登線（新設）	500	410×4	2	16	16 - 11
工事中	のうえつかんせん 能越幹線（新	500	410×4	2	69	17 - 6

第 6 表 変 電 計 画

区 分	件 名	変 圧 器			使用 開始 年月
		電 圧 (kV)	容 量 (MVA)	台 数	
工事中	えちぜんへんでんしょ 越前変電所（増設）	275/ 77	200	2	15 - 6
14 年度 着 手	か がへんでんしょ 加賀変電所（増設）	275/154	400	1	16 - 6

<参 考> 設備投資額

徹底した効率化のもと、設備投資額の抑制に努めてまいります。

平成14年度 1,207億円

平成15年度 1,031億円

(単位：億円)

項目		年度		平成14	15
		水 力	火 力		
拡 充	電 源	水 力		—	—
		火 力		—	—
		原 子 力		527	422
		小 計		527	422
工 事		送 電		194	139
		変 電		52	69
		配 電		49	52
		給電・その他		13	24
		計		835	707
		改良工事他		372	324
		総 計		1,207	1,031

(注)四捨五入のため合計が合わない場合がある。